

次世代リーダー育成事業

「事業企画スペシャリスト養成講座2023」

—いのち輝くARTs for Beyond SDGs KANSAI～大阪・関西万博と万博後に向けて—

各界のトップ講師による
若手人材の企画力育成を目的とした
貴重な講座です

大阪・関西万博の開催を通してSDGsに挙げられている社会課題を解決するSDGs達成のみならず、SDGs+beyondへの飛躍の機会にし、大阪・関西万博を活用し、レガシーに繋げていくためにも、未来を創る次世代リーダー人材の育成が求められています。持続可能性への意識の高まり、多様性やガバナンスなど新たな社会規範の登場、戦後の平和を支え続けた国際レジームの綻びなど、いま社会のパラダイムが大きく変化しはじめています。こうした中で新たな未来を切り拓いていくためには、過去に学び未来を予測する思考力と、他者に共感を与える行動を促す表現力を備えた「企画力」が重要となります。そこで、事業企画のスペシャリストとして社会を動かすことのできる若手人材を育成するために、日本の歴史上の偉大なイノベーターたる弘法大師と豊臣秀吉の営みが宿る醍醐寺において、昨秋開講した次世代リーダー育成事業「事業企画スペシャリスト養成講座 2022」に続き、「事業企画スペシャリスト養成講座 2023」を開講致します。

会場 世界文化遺産 京都 醍醐寺

—1日目—
10月13日(金)—2日目—
10月25日(水)—3日目—
11月2日(木)—4日目—
11月9日(木)—5日目—
11月14日(火)塾長
石川 勝氏

講師

小橋 賢児氏



講師

小川 理子氏



講師

宮田 裕章氏



講師

澤田 拓子氏

ご協賛一覧



阪急阪神ホールディングス株式会社



岩井コスモ証券株式会社/さくらインターネット株式会社/サントリーホールディングス株式会社/ジーライオングループ
阪急阪神ホールディングス株式会社 / 株式会社丹青社 / 滋慶学園グループ
ロート製薬株式会社 / 株式会社ミライ・ワン / 株式会社LIVLA

主 催 一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

後 援 一般社団法人 関西経済同友会

特別協力 世界文化遺産 京都 醍醐寺

短期集中
少数精銳

次世代リーダー育成事業 「事業企画スペシャリスト養成講座2023」

—いのち輝くARTs for Beyond SDGs KANSAI～大阪・関西万博と万博後に向けて—

貴重な学び
× 実践指導

10:00-12:10

—講義—

1日目

10月13日(金)

2日目

10月25日(水)

3日目

11月2日(木)

4日目

11月9日(木)

5日目

11月14日(火)
「この不透明な世界で
Well-beingの
意味するものは？」

「新たな時代の万博を
共に創ろう」

「ミラクルをつくる
企画力とは」

「事業哲学の浸透と
価値創造」

「better Co-being
共鳴の先にある
未来の可能性」



石川 勝氏



小橋 賢児氏



小川 理子氏



宮田 裕章氏



澤田 拓子氏

プランナー
(株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役
(公社)2025年
日本国際博覧会協会
会場運営プロデューサー

クリエイティブディレクター
(公社)2025年
日本国際博覧会協会
催事企画プロデューサー

パナソニックホールディングス
(株)参与
関西涉外・万博推進担当
(兼)テクニクスブランド
事業担当

慶應義塾大学 医学部
医療政策・管理学教室教授
(公社)2025年
日本国際博覧会協会
テーマ事業プロデューサー

塩野義製薬(株)
取締役副会長
(公社)関西経済連合会
副会長

各界トップクラスの
専門家や経営者から
物事を捉える視点や
発想法などを学ぶ

13:00-16:00

—ワークショップ—

・オリエンテーション
・アイスブレイク
・グループワーク

▶ ④・グループワーク
・グループ発表

▶ ⑤・個人発表

▶ ⑥・個人発表

▶ ⑦・個人発表
・総評
・修了証授与

プランナーとして数多くの実績を持つ塾長が、全5日間ファシリテーターとしてご指導下さいます。



石川 勝氏

～塾長より～
知識の習得において座学は重要ですが、企画づくりは知識を組み合わせて一つの物語をつくり出す構成力が不可欠です。構成力を習得するためには、実際に企画をつくり、発表し、評価されることが重要です。本塾においてアイデアソンを通して企画づくりを実践することで、真に役立つ実力を身につけることができます。

塾生自身が企画を考え、
発表し、評価し合うことで、
事業企画のスペシャリストに
必要なスキル習得を目指す

会場

世界文化遺産 京都 醍醐寺



三宝院

本坊的な存在の三宝院は、建物の大半が国の重要文化財に指定されており、中でも庭園全体を見渡せる表書院は、桃山時代の寝殿造り様式を伝える建造物として、国宝に指定されています。三宝院庭園は、慶長3年(1598)に豊臣秀吉公が「醍醐の花見」に際して自ら基本設計をした庭であり、今も桃山時代の華やかな雰囲気を伝えています。



「いのち輝くARTs for Beyond SDGs KANSAI
～大阪・関西万博と万博後に向けて」

アートの力はSDGsとBeyond SDGsの源泉

芸術文化・アートは、感動や生きる喜びをもたらし人生を豊かにすると共に、SDGsとBeyond SDGsに果たす役割は極めて重要です。アートが内包する創造性や多様性、ノンバーバルなコミュニケーションは人の心に染み入り、社会意識の醸成や行動変容を起こす力を秘めています。一人ひとり心の中に根付くアートの力が、SDGsの17のゴールを達成し、Beyond SDGsを導く源泉になります。

「第1回 日本国際芸術祭」

新しい国際的な芸術祭を開催

日本国際芸術祭は、2025年日本国際博覧会を契機に、万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都で開催致します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創を目指し、2023年に第1回を開催。9/1～10/15の会期で、世界文化遺産京都醍醐寺をメイン会場に、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館、寺社仏閣等を繋ぎ、京都から大阪や全国が繋がります。



主催

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

後援

一般社団法人 関西経済同友会

特別協力

世界文化遺産 京都 醍醐寺